

## □■養成所ニュースプラス第 28 号特別編 2023□■

35 期生の皆さんも 3 学期に入りました。今回は特別編として、Plus Column でレポート課題のポイントをお伝えします。既に関済終えた方も、これからの作成する方も確認をお願いします。

※Plus Column 内で挙げている科目名については、丸数字が文字化けするため算用数字で記載しています。

### ■Plus Column . . . . .

3 学期も 1 ヶ月が過ぎましたが、テキストの精読とレポート作成は計画どおり進めていますか。3 学期のレポート作成にあたって気を付けてほしい点を皆さんと共有していきます。

まずは、レポート課題の提示です。「地域福祉と包括的支援体制 1」と「障害者福祉」は 2 つの課題から一つを選びます。他の 4 科目は、課題を取り違えないように、3 学期のレポート課題であることを確認して取りかかりましょう。

次に、引用・参考文献についてです。「社会福祉の原理と政策 2」では、「以下の書籍やインターネット等で関連用語を検索して」、「地域福祉と包括的支援体制 1」では、テキストの該当箇所を「参考に」、「ソーシャルワークの理論と方法（専門）1」では、「テキストを精読し」とあり、「障害者福祉」も参考となる資料が提示されています。この点については、返却されたレポートの総評等で何人かの先生からコメントがあったと思います。引用・参考文献欄に忘れずに記入することが必要です。

今学期は、6 科目中 5 科目が皆さんの考え（見解）を述べる課題になります。このような課題は、テキストの記述を書き写すだけではいけません。ある先生は「自らの経験知である主観をテキストに基づき客観化する作業が求められる。」と 1 学期レポートの総評で伝えています。根拠に基づいた皆さんの独自性を示してください。

また、今学期も皆さんの経験や事例が求められる科目があります。「地域福祉と包括的支援体制 1」の課題番号 1 では、皆さんの実践に「身近な地域生活課題の現状を具体的にに取り上げ」とあり、同じく課題番号 2 では、「自身が体験した、もしくは実施している福祉教育について振り返り」と提示されています。「ソーシャルワーク演習（専門）2」では「相談援助事例を通し」とあります。事例を挙げることを忘れないようにしましょう。そして、事例を説明するには、全体のバランスが大切です。そのためには、初めに文章構成を考えて事例を書く分量を決めることもできますし、ひとまず書いてから、序論や結論の分量が極端に少なくないかを意識して推敲することもできます。

1 学期のレポートの一部が返却され、レポート作成に手ごたえを感じられた方、作成するにあたって修正点が理解できた方、それぞれの受け止めがあったと思います。3 学期のレポート提出期間は、年明け 1 月 15 日から 22 日当日の消印有効となっております。今回は、年末年始を挟みます。スケジュールを意識しながら進めてください。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus